

記者資料提供（令和2年9月1日）
（一財）神戸観光局 神戸フィルムオフィス

松下、土屋 TEL：078-262-1261 FAX：078-230-0808



神戸フィルムオフィス創立 20 周年記念 ～20 年の歩みを振り返る、各種企画を実施～

2000年9月13日に市によって創立された神戸フィルムオフィスは本年20周年を迎えます。それを記念して、撮影関係の方々、神戸のまちの方とともにこの20年を振り返る、各種企画を実施します。

1. 神戸フィルムオフィスとは



創立当日、初代代表の田中まこ氏が看板を掲げる。於：（財）神戸国際観光コンベンション協会【現：（一財）神戸観光局】

神戸フィルムオフィスは阪神・淡路大震災からの復興の過程で、映像を活用しまちを元気にすることを目的に創立された、市のフィルムコミッション（FC）（*1）です。発足と同時に世界のFCが参加するAFCI（国際フィルムコミッショナーズ協会）の日本における正式会員第1号になりました。

多様で魅力的な景観がコンパクトに集まる神戸を、全国・全世界に発信すべく、制作者に映画やドラマ等の多くのロケーションを紹介し、撮影支援を行い、この20年間に市内で撮影された映像作品は3,044件、直接経

済効果（*2）は1,851,176,579円にのぼります（令和2年3月末）。また、神戸フィルムオフィスサポーター（KFOS）には市内を中心に約12,000人の方々が登録され、撮影時にはボランティアエキストラやボランティアスタッフとして活躍していただいています。

*1 フィルムコミッション（FC）：映画、テレビドラマ、CMなどの映像プロジェクトを誘致し、ロケーション撮影をスムーズに進めるための諸手続を行う非営利の公的機関。日本では2000年に4都市（神戸、横浜、北九州、大阪）のFCが誕生し、現在は300以上の自治体にあると言われている。

*2 直接経済効果：宿泊や食事、機材レンタルなど撮影隊が地元にもたらす費用のこと。

2. 20周年記念企画 詳細

（1）上映会開催

①概要

この20年間で神戸フィルムオフィスが支援した劇場公開映画は約100本にのぼります（自主映画、学生映画は除く）。上映に当たっては、市内全ての映画館にお声がけし、賛同してくださった映画館8館（*）と連携、相談のうえ、100本の中から特に神戸と縁の深い8作品を選定、それぞれの映画館で1作品ずつ上映します。

- * 神戸アートビレッジセンター、OS シネマズ神戸ハーバーランド、OS シネマズミント神戸、神戸国際松竹、パルシネマしんこうえん、シネリーブル神戸、109 シネマズ HAT 神戸、元町映画館（上映スケジュール順）

②上映スケジュール・会場：別紙の一覧をご参照ください。

③鑑賞料：一律 500 円

④参加申込方法：各映画館の通常のチケット購入方法に準じます。前売券は無し。

⑤来場特典：来場の全観客に 20 周年記念・神戸フィルムオフィスオリジナル「シネマノート」（全 5 種類。各作品につき 1 冊。表紙は鳥瞰絵師・青山大介氏による）進呈。



* 鑑賞作品の基本情報や感想をメモしていただくノートです。当上映会でも、この先も、神戸の映画館を巡る楽しみを知っていただくきっかけになればという思いを込めました。

◆ゲスト

- ①9月6日（日）『繕い裁つ人』上映後、三島有紀子監督のトークセッション開催。
- ②9月13日（日）『リターナー』上映後、山崎貴監督と田中まこ初代代表の対談実施。
- ③9月22日（祝・火）『紙の月』上映後、吉田大八監督と、リモートでトークセッション開催。※会場と東京の吉田監督を繋ぎます。映画館での双方向のオンライントークセッションは神戸では初めての試みです。
- ④9月26日（土）『GO』上映後、行定勲監督と田中まこ初代代表の対談実施。
- ⑤その他、ゲストが来場されない日も、原田真人監督、三宅喜重監督、廣木隆一監督、キム・ソンス監督（韓国）から、この日のための特別メッセージをいただき、上映前にお届けします。



三島有紀子監督



山崎貴監督



行定勲監督

◆上映会における新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応について

- ・各映画館のガイドラインに準じて、全スタッフ・観客のマスク着用、入場時の検温、手指の消毒を徹底します。また登壇者同士、登壇者と観客間も 2 m以上の距離を保ち、感染防止対策を実施します。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更する可能性があります。
- ・参加できなかった方にも楽しんでいただけるよう、当日のレポートを特設サイトに掲載します。

(2) 記念誌 発行（無料配布）

この20年間の神戸フィルムオフィスの活動を、さまざまな角度からご紹介します。

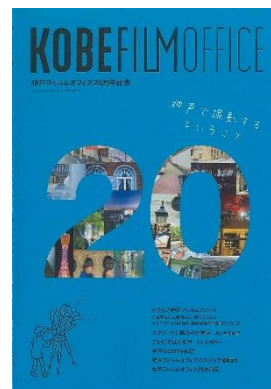
◆主なコンテンツ

- ① 水谷豊監督、山崎貴監督へのインタビュー
- ② 撮影関係者や撮影に関わってくださったまちの方々の声
- ③ ドラマ撮影の現場取材レポート
- ④ 神戸フィルムオフィスの活動紹介 など

◆概要

発行：2020年9月1日

配布場所：神戸市総合インフォメーションセンター、
市内映画館、市内主要図書館ほか



20周年記念誌

(3) 特設サイト開設（9月1日オープン）

20周年の記念企画と20年のあゆみをサイト上でもご紹介します。

◆主なコンテンツ

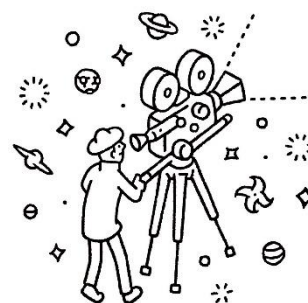
- ① 上映会スケジュール
- ② フィルムオフィス HISTORY
- ③ 上記記念誌をサイト内でもご覧いただけるよう電子版で公開
- ④ 上映会終了後は、上映会レポートを掲載予定

(4) ロゴ刷新

当オフィスのロゴを刷新します。寄藤文平氏によるデザインで、神戸フィルムオフィスの活動を表現しています。

（新ロゴ）

KOBEFILMOFFICE



◆寄藤文平氏制作意図コメント

映画・映像作品を作るひと、楽しみたいひと、継いでゆきたいひとたちみんなの気持ちを繋ぎ、場を整えていく、そんな神戸フィルムオフィスの活動の一助になれるのではないかと思います。

（寄藤文平氏）2005年 日本たばこ産業株式会社（JT）のポスター・新聞広告（「マナーの気づき」）で東京ADC賞、日本タイポグラフィ年鑑大賞受賞。アートディレクター、グラフィックデザイナー、イラストレーターとして活躍中。

・神戸での制作物：「BE KOBE」及び「BE KOBE ミライ PROJECT」、
「KIITO」のロゴ

日程	上映作品	時間	上映会場(映画館)
9月6日(日)	繕い裁つ人	上映開始/14:30~ ※上映終了後、三島有紀子監督によるトークセッションあり	神戸アートビレッジセンター
9月12日(土)	オオカミ少女と黒王子	上映開始/14:30~ ※本編上映前に廣木隆一監督による特別メッセージあり	OSシネマズ神戸ハーバーランド
9月13日(日)	リターナー	上映開始/14:00~ ※上映後、山崎貴監督、田中まこ前代表によるトークセッションあり	OSシネマズミント神戸
9月19日(土)	わが母の記	上映開始時間は14時前後で調整中 ※本編上映前に原田真人監督による特別メッセージあり	神戸国際松竹
9月20日(日)	阪急電車 片道15分の奇跡	上映開始/10:25~ ※本編上映前に三宅喜重監督による特別メッセージあり	パルシネマしんこうえん
9月21日(月・祝)	ゲノムハザード ある天才科学者の5日間	上映開始時間は14時前後で調整中 ※本編上映前にキム・ソンス監督による特別メッセージあり	109シネマズHAT神戸
9月22日(火・祝)	紙の月	上映開始時間は14時前後で調整中 ※上映後、吉田大八監督によるオンライントークセッションあり	シネリーブル神戸
9月26日(土)	GO	上映開始/14:10~ ※上映終了後、行定勲監督、田中まこ前代表によるトークセッションあり	元町映画館

★上映開始時間は確定次第、神戸フィルムオフィスの特設サイトに反映します